

図書館だより10月号

令和4年10月28日
万代高校図書館

日が短くなって、秋の深まりを感じます。最近白鳥の鳴き交す声も聞こえ、冬の訪れが近いことを教えてくれています。季節のひと巡りは早いものですね。一日の中でも寒かったり暖かかったり、体温調節が難しいこの頃です。体調はいかがですか？

先日、図書館を使った授業で、一年生の皆さんの絵本の読み聞かせを聴く機会がありました。それぞれが、聴く人に楽しんでもらおうと工夫をこらして、心なごむ時間でした。私も久しぶりに読み聞かせをさせてもらい、とても楽しかったです。

大人になると本は自分ひとりで読むのが普通になってきますが、ときにはこうして誰かに「読んでもらう」「読んであげる」という経験も、新しい発見があって良いものです。ひとりで読むときも、声に出してみるとまた違った面白さがあります。読書の楽しみ方はいろいろですね。寒い季節がやってきますが、心温まる本との時間が、皆さんにありますように。

図書館司書 楠

本のお話、なんでも
聴かせてください！

レファレンス(読書相談)、リクエスト

いつでもどうぞ



- 探している本が見つからない
 - 調べたいことがあるけれど、探し方がわからない
 - 何か読みたいけど、どれがいいかわからない
 - こんなジャンルで、おすすめの本を教えてください
 - こんな本を、図書館に置いて欲しい
- などなど、本にまつわるいろいろなお話、ぜひ聴かせてください。司書が、できる限りお手伝いします。気軽に声をかけてくださいね。

千の扉あけて 第16章

本の表紙を開いて最初に現れる、タイトルの書かれたページのことを「扉(とびら)」と呼びます。本を開くことは、いろんな世界、いろんな物語、いろんな知識へとつながる扉を開くこと。これから皆さんを、無数にある扉のひとつへご案内します。それをあけるかどうかは、あなた次第。ですが一冊の本の世界を旅した時、きっとそれ以前とは変わっている自分に気づくでしょう。今回の「扉」は…

『大事なことほど小声でささやく』

森沢 明夫 著
幻冬舎

913
モ



言葉が人の心を救うことがあります。どうしたら晴れるのか分からないモヤモヤを、一冊の本が持つ物語の力が、吹き散らしてしまうことがあります。そんな力を持った本を紹介します。

.....
2メートル超えのマッチョなゴンママが営む「スナックひばり」には、ジムの筋トレ仲間が夜な夜な集う。職業も性別も年齢も立場も様々な彼らがそれぞれに抱えている悩みを、ゴンママとバーテンダーのカオリちゃんが、美味しいカクテルにそっと添える「言葉」で癒していく。

いつも前向きで明るいゴンママだが、ある夜、独りで生きる不安に囚われる。そんなゴンママを救ったのは、かつて自分がある人を励ましたときの言葉だった…。

.....
筋トレ仲間たちは、年齢、性別、立場も様々。そんな個性的な面々を主人公にした物語が繋がり合っていく連作短編小説です。大人っぽい話のようですが、主要キャラクターに高校生のシュン君がいて、彼の恋愛話がとても爽やかで素敵なのです。

つらいとき、苦しいときに、寄り添ってくれる人や言葉がそばにあるのは嬉しいことです。誰かの心を救い、癒し、温める言葉を持つ人でありたいですね。なお、この小説を原作にした同名の映画が11月4日からイオンシネマ新潟南で公開されます。小説と合わせて、ぜひ。

それではまた、次の扉でお会いしましょう！



新刊 PICK UP !

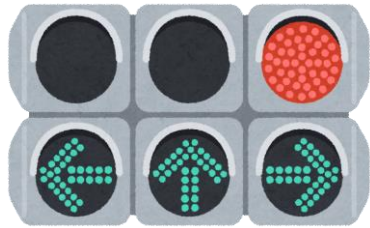


『ちょっと方向を変えてみる』

辻 仁成 著 文藝春秋

パリ在住で作家、ミュージシャン、映画監督、料理研究家など様々な顔を持つ著者が、ツイッターで発信した短文を集めた「言葉集」。

短い中にも、つらい気持ちを少し緩められるような、励ましてくれるような、さりげなく優しい言葉がたくさんあります。まさに、人を傷つけるのも癒すのも言葉なんだなあ、と気づかされます。



『沈みかけの船より、愛をこめて』

乙一 他 著 朝日新聞出版

乙一、中田永一、山白朝子という、作風も文体も違う作家たちによる共作短編集。解説は安達寛高。バラしてしまうと、全員ペンネームが違うだけの同一人物です。知ってから読んでも、その才能に驚くばかりです。



『差別はたいてい悪意のない人がする』

キム・ジハ著 大月書店

気づかれない差別は数多く存在し、あらゆる差別はマジョリティには「見えない」。多くの人々が、差別を差別として認識していないという奇妙な現象をたどり、日常の中にありふれた排除の芽に気づき、真の多様性と平等を考える思索エッセイ。



『生きる意味って何だ？』

村上祐介 著 創元社

幸せって何？ 生きる意味って？ 恋愛や友情、家族、自然、文化などなど、人生に関する根本的な問い＝ビッグ・クエスチョンズをめぐる学術研究の膨大な知見を参照しながら、より良く生きていくためのヒントを探ります。

